

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市農業センター

団体名：未来農業共同事業体

代表企業 ホームックス株式会社

構成企業 株式会社日比谷アメニス

株式会社オアシスパーク

株式会社井上工務店・

飛騨五木株式会社

株式会社 TAB・株式会社チュウチク

(1)管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

■基本方針

私たち未来農業共同事業体は、『市民と農の架け橋』としての機能を持つ本施設の設置目的やビジョンを十分理解し、関連法令・名古屋市条例を遵守して、民間事業者の知見、ノウハウを導入し魅力ある施設にふさわしい管理運営業務を徹底します。

【都市農業の6つの機能の発揮】

都市農業には消費者と近接しているという立地条件を活かし、新鮮・安全な農産物の供給に加えて6つの機能があります。多面的な機能の一層の発揮に向けて、ニーズに応じた多様な取組を継続的に実施し、『農のある暮らし、街と共にある農業』を『効果的に伝えていくこと』も責務と考えています。

■管理運営の考え方

多数の公共施設や都市公園等の指定管理実績に基づく技術力・知識・ノウハウを最大限に発揮し、本施設の設置目的である『農のある暮らし、街とともにある農業』の推進に全力で取り組みます。現在の講座等も継続しながら、本施設にふさわしい企画を年間通じて実施し、公園機能も適正に管理しながら都市農業の魅力を伝える施設づくりに取り組みます。また、SDGsに提唱される『持続可能な人の暮らしの在り方』について、情報発信に努め『知る』『体験する』『考える』のきっかけの場となることを目指します。

ア.都市農業の大切さを『知る』

農地は市街化区域内における宅地化の転用により引き続き減少傾向にあり、農業従事者も高齢化に伴い健康や体力の面でつらい、後継ぎがいない等で農業経営そのものを断念する農家も少なくありません。私たち共同事業体は、農業を知りその魅力を感じてもらう為に、近隣市で活躍する若手農業集団の方たちと連携し、農業を知る機会を増やします。メンバーの畜産農家や園芸農家の方の生の声を聞く体験イベントや講座を通して、都市農業の大切さを知る機会を提供します。

イ.都市農業の大切さを『体験する』

世代ごとに食育事業に取り組みます。親子栽培教室・家庭菜園教室・有機農業教室・野菜収穫体験・家畜見学体験等の体験事業を通じて、世代ごとに分かり易く関心を持っていただけるように、年間通じて各種の体験教室・講習会を開催します。体験教育では、東海学園大学・名古屋工業大学を始め、各団体との研究連携や講習会を計画しています。

ウ.都市農業の防災機能を『考える』

都市農地は、災害時に避難場所になったり炊き出しや物資供給を行う災害支援拠点となったりします。また仮設住宅用地や復旧用の資材置き場などとしての活躍も期待されています。また災害時には食料や水を提供することも期待されています。さらに火災の際の延焼を防ぐ機能もあります。名古屋市・天白区・天白消防署・天白警察署とも連携して、地域の方たちとの防災訓練を兼ねた防災キャンプなどを実施し、都市農業における防災機能を考えるきっかけづくりに努めます。

②指定管理業務

指定管理業務は、主なものには、《ファームエリア》の「成牛舎の解体・新築」「子牛舎の解体・新築」、また《デッキエリア》の「展示温室の解体」、さらには《レストエリア》の「育中雛舎のリノベーション」などがあります。愛知県産材を含めた国産材による木造の新牛舎や、隣には子牛舎を整備します。育中雛舎をリノベーションし未就学児が親子で遊べる無料休憩スペースや安心、快適な屋内トイレ・ベビーコーナーも整備します。休憩スペースと併設したカフェコーナーは、屋内・屋外オープンデッキでの飲食にご利用いただけます。展示温室跡は、来園者が休憩できる屋根付きスペースとして整備し、ミスト噴射により夏場の熱中症対策を図ります。イベント開催時には、ステージとしても利用し来園者に楽しんで頂けるように計画します。



新牛舎（イメージ）



休憩スペース・カフェスペース（イメージ）



オープンデッキスペース（イメージ）



中央広場大屋根ステージ（イメージ）

※上記写真は、いずれも整備イメージです。

③自主事業

自主事業は、園奥の芝生広場の「バーベキースペースの整備」、また牛舎隣の室内休憩スペースエリアの「カフェスペース設置」、さらには「農産物売店の内外装改修」などがあります。また、ふれあい動物園の整備も計画しています。これら施設整備のほかに、来園者が参加できる様々なイベント事業も計画しています。



BBQ 広場（イメージ）



室内休憩スペースカフェ（イメージ）



農産物他売店（イメージ）

※上記写真は、いずれも整備イメージです。

(3)収支計画について

①管理運営にかかる費用等（税込）

【各年度の提案総額】

（単位：千円）

年 度	金 額
令和 5 年度	150,000
令和 6 年度	197,000
令和 7 年度	197,000
令和 8 年度	197,000
令和 9 年度	197,000
令和 1 0 年度	197,000
令和 1 1 年度	197,000
令和 1 2 年度	197,000
令和 1 3 年度	197,000
令和 1 4 年度	197,000

期間を通じた収支計画】（指定期間を通じた項目別内訳）

○収入

（単位：千円）

費 目	金 額
指定管理料	1,923,000
生産物売却収入	111,740
利用料金（駐車場・市民菜園・行為許可）	126,600
自主事業還元金	20,900
収入合計	2,182,240

○支出

（単位：千円）

費 目	金 額	備 考
人件費	970,530	
光熱水費、燃料費、消耗品等	262,204	
畜産・園芸管理業務費等	434,770	
施設管理費等	305,178	
事務費等（催事関連・保険・雑費・一般管理費）	209,558	農業関連協力金・地域関連費他
支出合計	2,182,240	